



ふ た ば  
双 葉

愉しく 仲良く 元気よく

志を持ち国際社会に羽ばたくシカゴっ子

## 旅立ちの日に ～人は出会いで心を広げ、別れで心を深く掘る～

シカゴ双葉会日本語学校 全日校

(シカゴ日本人学校) 校長 長谷川 雄一

卒業式が近づき校内には児童生徒の歌練習の音が響きわたるようになりました。その中のひとつ「旅立ちの日に」は、今では日本国内の8割ほどの学校が、この曲を卒業式で歌うそうです。

この合唱曲は1991年に埼玉県公立中学校の教員により作られました。この学校は埼玉県北西部の山間部の高台にあり、鹿やクマが出没することも、さほど珍しい場所ではありません。そこから車でしばらく奥に入っていくと、険しい群馬県・長野県・山梨県・埼玉県の分岐する山奥に入っていきます。イリノイ州では見ることもない山深い光景です。

私はこの学校を訪問したことがあります。校内外の点検を中心に校長先生と回るのですが、その巡回中にこの学校でこの「旅立ちの日に」が生まれたことを知りました。校内に石碑があり、この歌の歌詞が刻まれていました。このような曲が、こんな身近な、さらにはこのような山間部で生まれたことに驚きがありました。訪問時の校長先生から、この曲が作られたいきさつをお聞きしました。当時、この中学校はたいへん荒れていたそうです。毎日、非行問題行動が起これ、先生方は疲弊し、通常の教育活動も難しく、卒業式もできるかどうかというような状況だったと言います。そのような中で、時の校長先生がせめて歌で生徒の心を落ちつかせ、教職員の苦労をねぎらい、旅立ちの日を祝ってやろうというお気持ちから、音楽の先生に相談を持ち掛け、生まれたのがこの曲だそうです。歌詞にある内容とは全くちがう現実が目の前に毎日のように起きたのでしょうか。(現在はとてもよい学校です念のために)

ちょうど高台にある学校で夕日が落ちかけていた時間帯でもあり、しみじみとお話をお聞きした覚えがあります。その後紆余曲折を経てこの曲が全国に広まり、あまりにも有名になり過ぎたため、来校者が後を絶たず、そうした点では少しお困りのようでした。私も以前は中学校の教員であり、卒業式に向けた緊張感も理解できるものがありました。教諭の時代を通して、卒業式前日は午後9時前後まで会場を整え、一度家に帰り、再び午前3時には学校にいるという教員生活でした。もしも会場が荒らされたら、会場を修復するために必要な時間が午前3時でした。幸い私が勤務した学校では一度もそのようなことはなく、それが縁起かつぎのようになり、新採用から退職するまで私の中で毎年卒業式の定例日課となってしまいました。

この曲を聞くと、先生方の児童生徒への思いや願い、保護者の方々のお子様への限りない愛情を感じずにはいられません。子どもたちのこの合唱を聞くだけで、この職についてよかったと思います。間もなく3月13日の卒業式がやってきます。1年間で大きく成長した6年生、現在も進路を切り拓くために自分自身と戦っている中学3年生、旅立ちの日が近づいています。

## 6年生を送る会を行いました～心のやさしい児童が育っています～

2月19日（月）5時間目 6年生を送る会が大体育館で開かれました。1年生から5年生がそれぞれ心を込めた内容で、6年生に卒業をお祝いする気持ちを伝えていました。合唱曲を歌いながら涙ぐむ児童の姿もあり、心のやさしさが育っていることを感じました。

それぞれの学年が担任の先生の個性の下で、1年間の絆を深め、まとまりのある学級に育つたことも実感しました。

## 6年生卒業を祝う会が行われました～保護者の皆様に感謝します～

2月23日（金）6年生保護者による卒業を祝う会が行われました。6年生保護者の皆様には、企画から当日までの準備、当日午前から午後わたるまでたいへんお世話になりありがとうございました。すべての教職員にもお声をかけていただき、感謝いたします。6年生はワシントンへの修学旅行、そしてスキー教室と2度の宿泊学習を過ごしました。運動会、修学旅行、双葉フェスティバル、スキー教室と大きな行事の節目節目に成長する姿を見せてくれました。日頃も昼休みに男女で鬼ごっこをして元気に走り回る姿や、学習内容を深めた見ごたえのある掲示物など微笑ましくもあり、立派な小学部最高学年です。心温まる親子、そして先生方との会になりました。ありがとうございました。

## ひな人形が飾られました～保護者ボランティアの皆さま～

ボランティアの皆さま、ありがとうございました。大きなひな飾りに児童生徒は大喜びです。日本人学校ならではの、伝統行事の飾りつけ、感謝いたします。

素朴な疑問ですが、どのような経緯で、このお人形たちが日本から太平洋を越え、アメリカ大陸を横断して、ここシカゴにいるのでしょうか。日本に帰ることのないお人形たちですが、大切にしていきたいと思えます。

## 現地校相互訪問～在外教育施設ならではのよさ～

たいへん有意義な行事でした。本校の児童生徒がすべて英語で受答えをしている様子を見て、一体どこでこれだけの英語力を身につけたのだらうと思います。すべての児童生徒が流ちょうに英語を操れるわけではありませんが、それでも諦めることなく、伝えよう、聞き取ろうとする真摯な姿勢はとても大切なことであり、伸びる最大の秘訣かもしれません。

担任の先生方からは、それぞれの学年に応じておもてなしの心を学び、創意工夫ある交流内容の準備をしていました。日本の教育のよさ、そしてアメリカで学ぶよさが表れていた交流会でした。課題としては、相手校との交流は学校間というよりも教員間のつながりで行われています。より充実したものにできるよう検討していきます。

## 小学部3年生校外学習～アーリントンハイツ町巡り～

学校のあるアーリントンハイツの町がこんなにも面白く、誇れる町であることに驚きました。小学部3年生の社会科・地域学習の延長としてアーリントンハイツの町並みを設計した William Dunton さんの像がある Dunton Park を見学し、消防署（No.1）警察署 図書館 歴史博物館を回りました。どこでも児童は大歓迎を受けてアメリカの人たちに囲まれ熱心に

説明を聞いていました。日本国内でもこうした校外学習はありますが、ここまで熱く語ってくれる場所はありません。アーリントンハイツを心から愛し、歴史や安全を守る人々が誇りを持って働いていることがわかりました。これはキャリア教育にもつながるものです。

心優しい子どもたちは警察署でいただいた各種グッズを私の分まで分けてくれました。

## 通知表は13日の卒業式にお渡しします～次へのステップに～

通知表は13日の水曜日に全学部・全学年の児童生徒にお渡しします。今年は文部科学省派遣教員6名が15日に帰国します。担任の先生が5名、教科担当者が1名おり、14日の修了式では実質的に通知表の評価や記述事項について、確認する必要がある場合に、担任の先生に聞くことができなくなります。そのため、前日の卒業式の日（13日）にお渡しをしますので、各ご家庭においてご不明な点がありましたら、14日の午前中までにご連絡いただければ助かります。

通知表そのものは日本の学校では、極めて一般的なものですが、法令上のきまりはありません。そのため、児童生徒に渡す期日もきまりとしてはありませんが、児童生徒のその時々、そして一年間の学びを振り返り、どこが成長し、次はどうすればさらに良いかを、子どもと保護者、担任の先生が共に認め励まし合うためのものです。頂いた通知表については、単に数字や○が付いている表面的なものだけではなく、その行間にある成長を含めて、じっくりと親子で話合う機会を持っていただけると、さらに次への飛躍につながります。子どもたちを見ていると、どの子ども大きく心も身体も成長しています。

## 小学部5年生・6年生スキー教室～上達は中学生以上でした～

アルパインバレースキー場に行ってきました。お天気は快晴でした。中学部の宿泊から3週間ばかりありましたので、雪の質の面では、パウダースノーとはいきませんでした。5年生と6年生の児童は元気に滑っていました。同じインストラクターさんでしたが、見ていると中学生よりはるかに上達が早く、こうしたスポーツを始める適齢期があることを感じました。

5・6年生はお行儀がよく、夕食後の室内レクでも、全員がまじめにゲームに取り組み、仲の良い学年であることを実感しました。夕食は中学部と同じ内容でしたが、食後のデザート（チョコレートアイスクリームケーキ）がかなり小さくなっていました。中学部では食べきれず、多くのケーキが残されてしまい、ホテル側の配慮のようです。

今年もホテルの授業員の方々に、「双葉会はとてもお行儀がいい」とか、「日本の学校の子どもたちは礼儀正しく、きれいに食べてくれる」「また来てください」と言われました。中学部の生徒たちから預かったインストラクターさんへのお礼のお手紙と写真をお渡しすると、たいへん喜んでいただき、このようなことは初めてですと感謝されました。

最後に1点。小学部も中学部もしっかりと過ごせたのですが、共通して気になることがありました。それはゴミです。休憩スペースの使用した机上に紙くず類が散乱していました。どちらも先生に呼び出され注意を受けていました。国内校では日常茶飯事によくあることですが、本校児童生徒の日頃の行動を見ると、逆に「この子たちが？」と気になりました。よく考えてみますと、腰をかがめてゴミを拾う人はほとんどみかけません。校舎外にもよく外部の人が持ち込んだ紙くずやビニール袋を見かけます。そこでも拾う人はみか

けません。ある方から「ゴミを拾う仕事をしている人がおり、その人の職を奪うことになるから」ともっともらしく言われましたが、はたしてそうでしょうか。現地校はともかく、日本人学校に通う意味がそこにある、日本人学校の存在意義もそこにあると思います。

ちなみに、小学部では雪がとけてぬれたままになっているテーブルに気づき、最後の一人になったある女子児童が、持参したティッシュペーパーできれいにふき取り、何事もなかったかのように仲間に合流していく姿を見ました。このような児童が育っていることをうれしく思いました。

## 帰国される先生方～文部科学省からの派遣教員について～

今年度帰国される文部科学省からの在外教育施設派遣教員6名の先生方をお紹介させていただきます。

(文部科学省登録順)

教諭 金澤 朋宏 3年間在職

教諭 熊谷 有美子 3年間在職

教諭 椎木 彩子 3年間在職

教諭 高橋 智子 3年間在職

教諭 水谷 隆之 3年間在職

教諭 鎌苅 順一 3年間在職

6名の先生方は、3月15日(金)日本航空009便午前11時20分シカゴ・オヘア空港発東京・羽田空港行きでご帰国されます。コロナ禍の中での赴任、リモート授業、通常授業等への移行など学校が困難な時期にたいへんご尽力いただきました。

双葉会からも2月21日(水)に送別会を開いていただき、立派な記念の盾をいただきました。学校運営委員会(双葉会)と保護者の皆様に心から感謝いたします。

離任式について～先生方と児童生徒の最後の授業です～3月14日(木)に修了式のあと、離任式を行います。

これにつきましては、児童生徒と先生方との最後のお別れの「授業」となりますので、在校生と教職員のみで行います。保護者の皆様のお気持ちは理解でき、ありがたいのですが参観はご遠慮願います。卒業生もお気持ちは理解できますが、卒業式という節目は大切にさせていただきたいと考えています。卒業式前に先生方のご挨拶を交わしていただければと思います。

離任式は国内でも様々な形があり、生徒と先生方だけで行う学校もあれば、保護者をはじめ地域の方々にもオープンにしている学校もあります。私も校長として両方を経験しました。保護者や地域の方々が、奉職した教職員との別れを大切に下さるお気持ちは、たいへんありがたく尊いものですが、この時間は最後の授業の場となります。先生方が児童生徒に最後に伝えたいことを語り、児童生徒は先生方への感謝の気持ちと共に、それぞれが別れを惜しみながらも新たな旅立ちへと気持ちを整理し、決意を行う場となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

## ミターケはどうぞ～保護者もお入りください～

14日(木)最終日の最後に行われる本校恒例のミターケについては、どうぞ保護者の方もお入りいただけて結構です。卒業生も兄妹姉妹関係等おありだと思しますので、保護者同伴ならば可といたします。写真撮影等、子どもたちの人権や心情にはご配慮をお願いいたします。

## 進学する児童生徒は学習を～No,1に休みはありません～

まだ一部ですが高校受験、中学受験を終えた児童生徒が日本から帰ってきました。彼ら、彼女らの表情や言葉から、それぞれに成長したのを感じます。

おそらく、本校の児童生徒は十分にわかっているとは思いますが、受験はゴールではなく、新たなスタート、自分との戦いの始まりだということです。以前にもお伝えしたとおり、進学校と呼ばれる学校は、合格発表の後の最初の土日に学校生活についての説明会があります。その中で、たくさんの宿題が出されます。4月入学までに遊ぶ余裕はありません。つまり、受験勉強をしていた時のままで、高校（中学校）に入学してきてくださいというメッセージなのです。大学受験に例をあげると、早い大学は3年生の夏には推薦選考が始まります。3年間がんばればよいのではなく、勝負はほぼ2年間と言っても過言ではありません。外国留学はさらに早いでしょう。そうした理由から、車で例えると、高速道路を走る状態で2年間を走らせる感覚です。途中で一般道を通ったりドライブインによる時間が、あと数点届かない現実につながるからです。

私の経験からですが、卒業してからよく中学校に来る生徒は、たいてい高校生活がうまくいかない生徒でした。夢に向かい、目標を捉えている生徒には過去を振り返る時間も惜しいのです。あのころは楽しかった、よかった、先生方はやさしかった、でも、高校は笑顔で声をかけてくれる先生は一人もいない。それが現実社会の姿でもあります。そうした中で、たくましく生き抜いていくことが、とても大切です。私は担任をしていた当時、中学3年生には卒業前の最後の学級活動で「中学校をふりかえるな、卒業したら絶対に中学校を振り返らずに前だけ向いて歩きなさい。ただし、結婚する時は、呼ばなくてよいから知らせてほしい。お祝いと祝電は送らせてもらう」。

本校の卒業担任の先生中学部は和田先生、小学部は椎木先生ですが、子どもたちにどのような言葉で卒業式に送り出すのか、聞いてみたい気持ちがします。校長の権限上では教室で聞くことはできますが、それは愚かな校長のすることです。やはり、最後のひときは子どもたちと担任の先生だけの大切な時間を確保してあげたいと考えています。

## 今年度最後の学校運営委員会～貴重な予算を大切にに使わせていただきます～

2月27日（火）今年度最後となる第6回双葉会学校運営委員会が無事に終了いたしました。学校運営委員の方々には今年度通学バス関係をはじめ、多くの課題に取り組んでいただきました。保護者の皆様への次年度からの授業料値上げにつきましても慎重に協議をしていただき、大塚会長名で先にお知らせをさせていただきました。経済状況も不透明な中で、新たなご負担を保護者の皆様をお願いするのは、たいへん心苦しいことですが、会長からの言葉にもありましたように、それに応えられるように、教育活動の質の充実に取り組んでまいります。

なお、令和6年度予算案もご審議いただき、JCCCからもご了承を得られたとのことですので、学校といたしましてもたいへんありがたく感謝いたします。こちら、児童生徒の教育活動に活かせるよう大切にに使わせていただきます。

## 安全対策と教室環境を整えています～いざと言う時に備えて～

校内のセキュリティ対策強化の一環として、点滅ライトの増設、各教室内に複数のパニックボタンを設置する工事を行いました。同時に各教室内に大型の空気清浄機を設置しました。

感染症防止対策もありますが、アメリカの校舎は防犯上窓やドアを開けることができませんので、防犯対策を確実にやる点からもこの機器を購入しました。3月には校内の複数のドアの交換も行います。4月からは新しいドアから外来者は入る形になります。詳細は4月にお知らせをいたします。いずれにしても、ハード面だけではなく、教職員の意識の面（ソフト面）においても、ここアメリカで安全に過ごすための取り組みを進めてまいります。

## 次年度に向けて～いくつかのお願い～

- ① 令和6年度の年間行事予定表を添付します。なお、各行事の中で、水泳や各学年ごとに行う校外学習、現地校との相互交流等の日程は、先方の諸事情で不確定なものは誤解をさける意味で現時点では掲載していませんので、ご承知おきください。あくまでも現時点での計画ですので、諸般の事情で変更される場合もあります。ご了承ください。
- ② 4月の始業式の日程等については、現担任より学年ごとに連絡をいたします。
- ③ 教育活動の様子を撮影された場合には、くれぐれも画像等が流出しないようお願いいたします。一部の保護者の方から心配されるご意見も頂戴しております。お互いのお子様を守る意味でも常識の範囲内をお願いいたします。
- ④ 帰国される先生方へのお別れの挨拶等をしたいとの保護者の方の声もありますので、離任式には参加できませんが、この2週間の間にご来校いただき、メール等でお願ひできればと思います。14日（修了式・離任式）の混乱を避けるためですので、ご理解とご協力をお願いいたします。  
(ここまでの文責は校長にあります。以下は教頭先生が作成しています。)

## 子ども達の作品



1年生「かみざらコロコロ」



2年生「音づくりフレンズ」



3年生「クリスタル・アニマル」



4年生「布にえがこう (ふてばこ)」



4年生「木版画」



5年生「ゴム版画」



6年生「墨絵」





中学部2年  
 2学期美術作品  
 「水墨画」



3月（保護者用）						
日	月	火	水	木	金	土
					1 全校朝会⑩ ひなまつり	2
3	4 JALキャリア教育 5限：小学部 6限：中学部	5 ひな祭り収納 14:00	6 卒業式練習①	7 卒園式	8 卒業式練習② 修了式 (半日保育) 大掃除	9
10	11 卒業式予行	12 前日準備	13 卒業式 下校11:00	14 修了式 離任式 下校12:00	15 春休み 始業式 4/11 入学式 4/12	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※3月4日（月）にJALキャリア教育が行われます。

保護者の方も参加できます。（事前連絡は必要ありません。）

5校時（13:25～14:10）は、3年生以上の小学部

6校時（14:20～15:10）は、中学部

※いよいよ年度末が近づいてきました。

「雪解けて、村いっばいの子どもかな」 小林一茶作

シカゴの街にも春の気配が感じられる良い季節になりました。休み時間の子どもたち様子をみると、生きるエネルギーが満ち満ちています。この子たちが、日本の未来を切り開いてくれるのだと思うと、頼もしく感じられます。

落ち着いて、学習のまとめを行い、来年度への思いや願い、目標を立てて欲しいと思います。

1人ひとりの個性を大事に育てていきましょう。